

## 取扱説明書

保管用



# 屋外用 LED ガーデンライト

(防雨型)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

## 仕様

品名	光源	配光	光色	定格電圧	1回路あたりの接続台数
AD-2422-L	Power LED 1.6W×3	ミディアム	電球色	AC100V(±6%) 50Hz/60Hz	—
AD-2423-L	Power LED 1.6W×3	ミディアム	電球色	AC100V~240V(±6%) 50Hz/60Hz	35台(200V時=70台)
AD-2424-L	Power LED 1.6W×6				17台(200V時=34台)

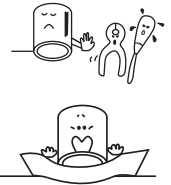
## この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

## 取り付け・取り扱いの注意

## ⚠ 警告

- ❗ 傷んだコード(被覆の傷や芯線の露出など)はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
- ★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。
- ❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。★十分にご注意ください。
- ❗ 一般屋外用器具(防雨型)です。
- ❗ 振動や衝撃の多い場所、腐食性のガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
- ★いずれの場合も器具の転倒、落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
- ❗ 次のような場所には取り付けないでください。
- 地中差込以外の場所 ○ 地盤の弱い場所
- ★いずれの場合も器具の転倒などによる破損やケガの原因となります。
- 雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所への使用
- ★防水性が損なわれ、器具の破損による器具漏電、感電事故の原因となります。
- ❗ 設置の際は垂直以外の向きに取り付けしないでください。
- ★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。
- ❗ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
- ★火災や感電事故の原因となります。
- ❗ ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
- ★感電事故の原因となります。



## ⚠ 注意

- ❗ AD-2422-LはAC100V専用です。必ずAC100V(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
- ★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して火災の原因となることがあります。
- ★定格電圧(100V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなる可能性があります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃~35℃の中で使用してください。
- ★過熱して発煙や発火、光源寿命短縮の原因となります。
- ❗ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
- ★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。
- ❗ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
- ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ❗ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
- ★カバーの破損、落下の原因となります。
- ❗ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
- ★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

## 使用上の注意

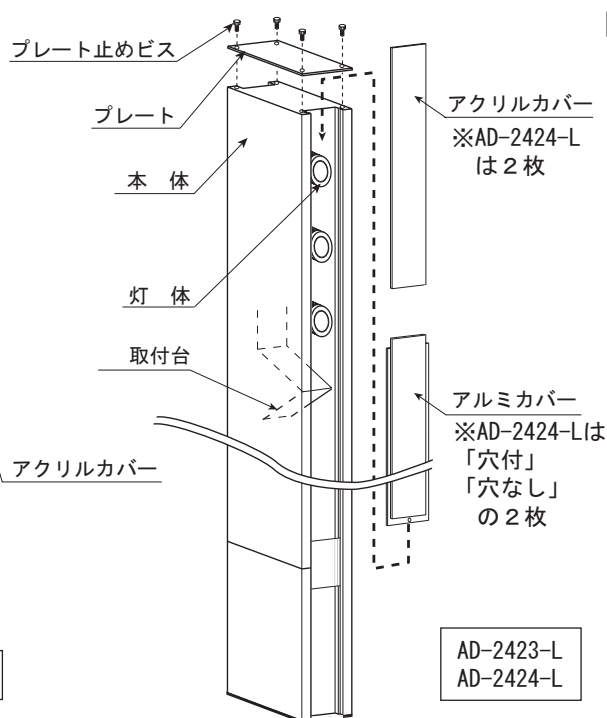
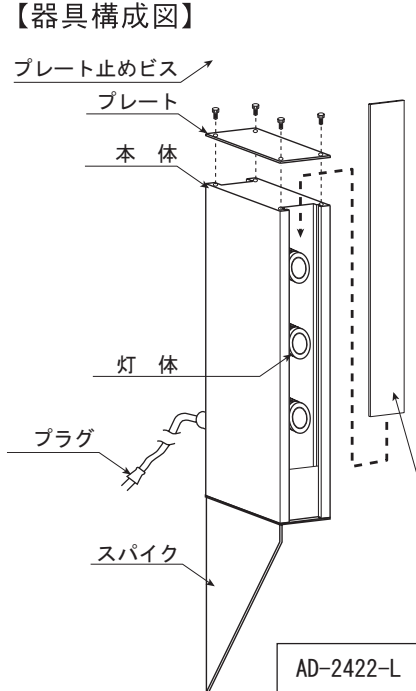
- ❗ 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
- ❗ LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合があります。予め御了承ください。
- ❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。
- ❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつくことがあります。予め御了承ください。
- ❗ アクリルカバー内面に結露が生じる場合がありますが、異常ではありません。点灯すれば解消しますので予めご了承ください。

## 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

### 【器具構成図】



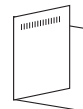
### 【付属品】



自己融着テープ・・・2枚  
※AD-2422-Lには付属していません。



六角レンチ  
(プレート止めビス用)・・・1本



取扱説明書(本書)・・・1枚



保証とアフターサービス  
について・・・・・・・・・・1枚

## 取り付け場所の確認

### AD-2422-L



**警告**

- 土壌のしっかりした所へ取り付けてください。  
砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、埋め込み部をしっかりと補強してスパイク部を固定してください。
- G.L.まで埋め込んでしっかりと固定してください。
- ★いずれも器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

### AD-2423-L/AD-2424-L



**警告**

- 土壌のしっかりした所へ取り付けてください。  
砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、必ずコンクリート等で本体埋め込み部分を補強してください。
- G.L.まで埋め込んでしっかりと固定してください。
- ★いずれも器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

## 取り付け方



**注意**

必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

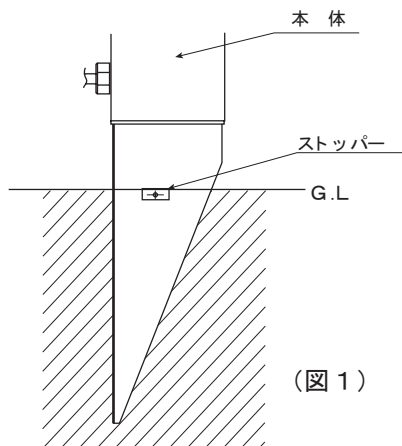


**警告**



器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。  
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

### AD-2422-L



(図1)

#### 1. スパイクを取り付けます。(図1)

- スパイクはストッパーの位置まで確実に埋め込んでください。



**警告**

- しっかりと埋め込まれたかを確認してください。  
★埋め込みが不十分な場合、器具の転倒による破損・焼損の原因となります。
- ストッパーの位置より上までは埋め込まないでください。  
★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない故障の原因となります。

#### 2. アース線を接続します。

- スパイク上面についているアース端子に接続してください。



**警告**

- 必ずD種(第3種)接地工事を施してください。  
●D種(第3種)接地工事は電気設備基準に従って確実に行ってください。  
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

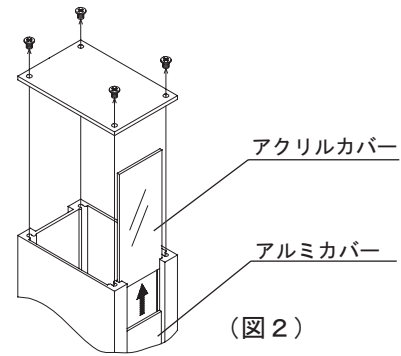
#### 3. 照射角度を調整します。

- 「照射角度の調整」をご参照ください。

## AD-2423-L/AD-2424-L

## ● 器具を取り付ける前に (図 2)

- ①プレート止めビス (4個) をはずして、プレートを外します。
- ②アクリルカバーとアルミカバーを上から順番に引き抜いてください。  
※AD-2424-Lは各2枚。



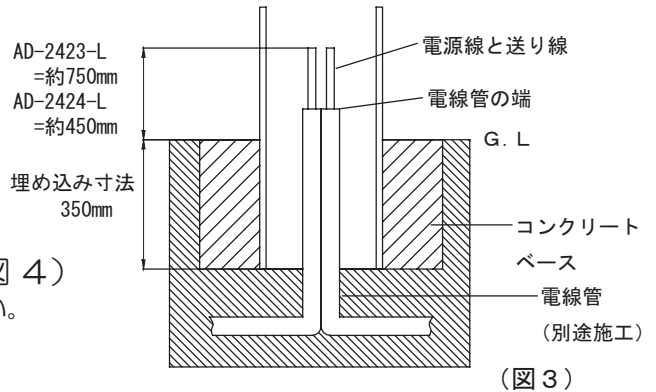
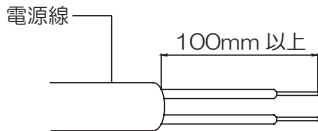
(図 2)

## 1. 電源線の施工 (図 3)

- ①電線管をポールの下から器具内に収まるように配管します。
- ②電源線の端を、グラウンドラインを基準に下記の寸法になるようにそれぞれ出してください。

- AD-2423-Lは約750mm
- AD-2424-Lは約450mm

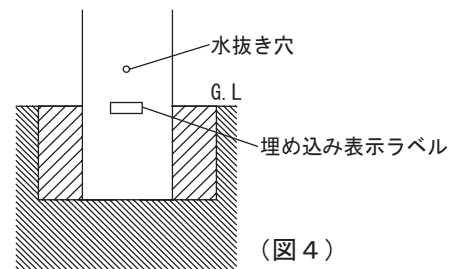
- ③電源線の外側の被覆を先端部より 100mm以上むきます。



(図 3)

## 2. ポールに電源線、アース線を通し、設置します。(図 4)

- ポールは埋め込み表示ラベルの位置まで確実にうめこんでください。  
埋め込みラベルの上にある水抜き孔は埋め込まないで下さい。
- ★具体的な施工は、電気設備基準および内線規定に従ってください。

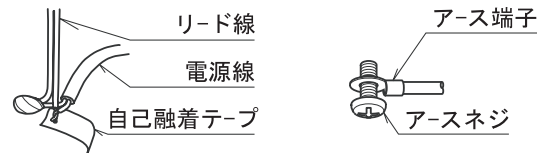


(図 4)

## 3. 電源線を接続します。(図 5)

- ①電源線を引き出し、被覆をむいてリード線と接続してください。
- ②裸線が見えない様に、自己融着テープでしっかりと巻き付けた上絶縁テープを巻いてください。

- ⚠ 警告 ①電線管の端は、グラウンドラインより上になるように施工します。  
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

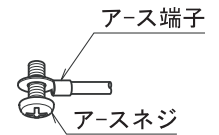


(図 5)

## 4. アース線を接続します。(図 6)

- 取付台についているアース端子に接続してください。

- ⚠ 警告 ①必ずD種 (第3種) 設置工事を施してください。  
②D種 (第3種) 設置工事は電気、設備基準に従って確実に行って下さい。  
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。



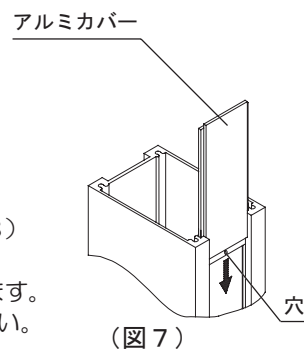
(図 6)

## 5. 照射角度を調整します。

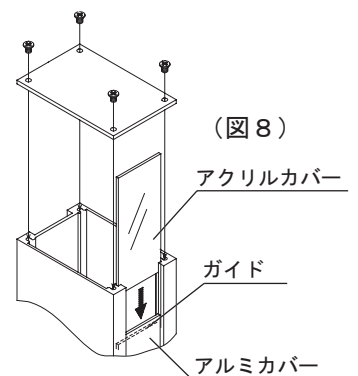
- 「照射角度の調整」の「2.」の項目をご参照ください。

## 6. カバーをはめ込みプレートをセットします。

- ①アルミカバー (穴付) を穴の開いているほうを下にして持ち、ガイドを本体の溝に合わせて落とし込みます。(図 7)
- ②アクリルカバーを本体の溝に合わせて、アルミカバーの裏のガイドの上辺に当たるまでしっかりと落としこみます。(図 8)
- ③ (AD-2423-Lは④へ進んでください。)  
アルミカバー (穴なし) とアクリルカバーを順に落とし込みます。
- ④プレートを本体にかぶせ、プレート止めビスで固定してください。(図 8)



(図 7)



(図 8)

## スイッチ操作

## AD-2422-L

- プラグの抜き差しによって「ON/OFF」操作を行います。

- ⚠ 警告 ①プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。  
★コードを引っ張るとコードを傷めて感電事故やショートによる火災の原因となります。  
★プラグは防水仕様になっていません。軒下等のプラグに直接雨のかからないコンセントから電源を取ってください。  
★感電事故の原因となります。  
●プラグのコードは人の通る場所では露出しない様にしてください。  
★コードを引っ掛け、ケガ、コードの切断の原因となります。

## AD-2423-L/AD-2424-L

- 壁スイッチにて「ON/OFF」操作を行います。

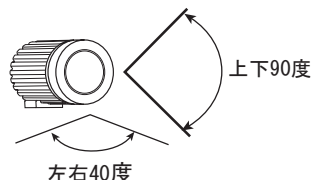
## 照射角度の調整

### 1. カバーを外します。(図9)

- ① プレート止めビス(4個)をはずして、プレートを外します。
- ② アクリルカバーとアルミカバーを順番に上から引き抜いてください。  
※AD-2422-LとAD-2423-Lはアクリルカバーのみ引き抜いてください。

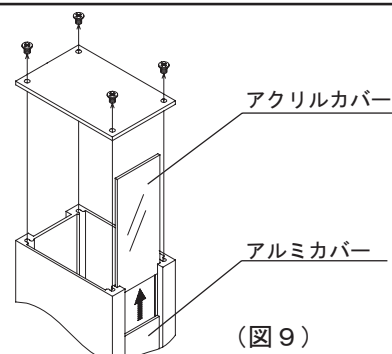
### 2. 灯体の照射角度を調節します。

- 下記の範囲で照射角度を調節してください。



#### ⚠ 注意

- 調節する際、レンズ部分には触れないでください。
- ★器具の故障の原因となります。



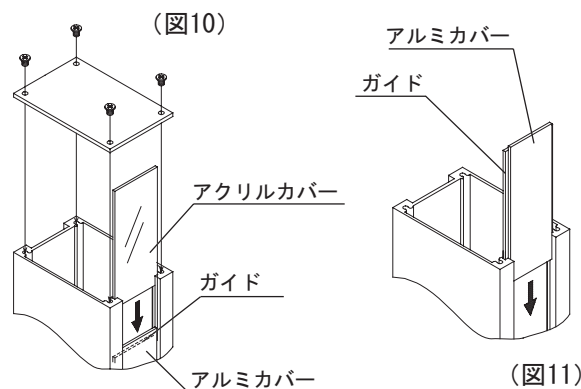
(図9)

### 3. カバーをセットします。

- ①アクリルカバーを本体の溝に合わせて、アルミカバーの裏のガイドの上辺に当たるまでしっかりと落としこみます。(図10)
- ②(AD-2424-L以外の品番は4.へ進んでください。)アルミカバーのガイドを本体の溝に合わせて落とし込みます。(図11)  
続けてアクリルカバーを落とし込みます。

### 4. プレートをセットします。

- プレートを本体にかぶせ、プレート止めビスで固定してください。(図10)



(図11)

## お手入れについて

### ⚠ 注意

❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- 1年に1回はお手入れを行い、異常が無いかを点検してください。  
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検をしてください。  
★点検を行わずに長期間使用し続けるとまれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。  
定期的に清掃しましょう、暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
- 長時間使用しない場合や、メンテナンス時はコンセントを抜いてください。

### ⚠ 注意

- ❗ ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。  
★感電事故の原因となります。
- ⊘ ●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

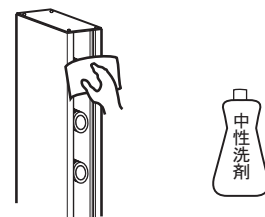
## ◆光源部品の交換

### ⚠ 注意

- ❗ この器具は、構造上お客様が光源部品を交換することができません。  
メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

## ◆お手入れのしかたについて

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



## ◆アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の品名(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。